

たこさんいかさん

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

B A

何処かの仕事場。AとBが仕事中。声に合わせて動く二人。

Aの声 おい。鳥尾。…ちよつと来い。ええからちよつと来い。ええから。

Aに近づくB。

Aの声 …何ですかやないわ。何やこれ。何やこれってって聞いているねん。ホンマ何回言わしたら気が済むねん。たこさんたこさんたこさんんってきたら、たこさんたこさんいかさんや！ たこさんたこさんたこさんんってきたら、たこさんたこさんいかさんや！ 何でたこさんたこさんたこさんんってきて、たこさんたこさんたこさんやねん。たこさんばっかしやないか。たこさんたこさんたこさんんってきたら、たこさんたこさんいかさんや。

B、ロバク。

Aの声 …こら！ おま、何呼び捨てしとんねん。これでおまんま食わせてもらつとんちやうんか！ いかさんや！ いかさんや！ 他の奴の仕事見ないから間違えるんやろ。普通に仕事してたら、たこさんたこさんたこさんんってきたら、たこさんたこさんいかさんやなってわかるやろ。普段からぼーっとしすぎやねん！ 大体、たこさんたこさんたこさんんってきてたこさんたこさんたこさんやといかさんが余っておかしい思うやろが。

B、ロバク。

Aの声 何やねん。もつとおつきい声で喋れ。そんなぼそぼそぼそ言うたかて、聞こえへんやろ。

B、ロバク。

Aの声 何でやねん。余らんわけないやろ。…何でや。たこさんたこさんたこさんんってきたら、たこさんたこさんいかさんやのに、たこさんたこさんたこさんんってきてたこさんたこさんたこさんやったら、いかさんが余らんとおかしいやろが。いかさん何処にいったん。

B、ロバクしながらその辺を指さす。

Aの声 …おま、あかん言うたやろが。いかさんいかさんいかさんはやったらあかん言うたやないか。ホンマ何してくれてんねん。もうええ、触んな。ええから触んな言うてんねん。触んなくて。向こう行っとけ。

泣くB。

Aの声 何泣いとんねん。こつちが泣きたいわ。謝ってたって一緒じゃ。またやらかすわ。やらへん言うて、どないして信じる言うねん。こんなありえへんことしてくれてからに。

間。

Aの声 …ええから顔洗って来い。その鼻水ついた手でたこさんを触るな！ 戻すな。ほらみろ、あーあ、たこさんかいかさんかわからんようになってもうたやないか。ホンマ、使えんやっちゃなあ。たこさんやろ。え？ 何でや。たこさんやろ。…いかさんか。おう、いかさんや。

終わり。